

## 最後の時

ダニエル書12章

国が始まってから、その時にいたるまで、かつてなかったほどの悩みの時があるでしょう。しかし、その時あなたの民は救われます。すなわちあの書に名をしるされた者は皆救われます。(1)

ここには世の終わりに関する預言が記されています。その内容はヨハネ黙示録に記されている事柄と重なり合っています。

これらの預言を理解しようとするとき、あくまで幻という形で示されたものであることを弁える必要があります。聖書が詳しく語っていないことについて、人間の限りある知恵で詮索することは信仰を歪めてしまう恐れがあります。その一方でハッキリしていることがあります。それは、終わりの日に、神を信じる者たち、すなわち命の書に名を記されている者たちは、永遠の命に生きるために蘇るということです。「しかし、その時あなたの民は救われます。すなわちあの書に名をしるされた者は皆救われます」。神を信じる者たちにとつて、世の終わりは得体の知れない恐ろしい時というのではなく、救いが完成するときです。大きな患難がこの世界を襲うとき、わたしたちは救いにあずかるのです。聖書は繰り返しその約束を私たちに語り、それゆえ地上の生涯を希望をもって生きるようにと勧めるのです。世の終わりに関する数字の意味や細かい記述に心を奪われてはなりません。それらはいくまで象徴的な表現であつて、具体的な何かを指し示すものではないからです。理解を超えたことは主の御手にゆだね、地上の生涯をまつすぐに歩みたいものです。